



Venture Pulse

Q3 2021

Global analysis of venture funding
日本語抄訳版

October 20, 2021

要旨



グローバル

- ベンチャーキャピタルによる投資総額が、過去最高の1,717億ドルを記録
- 2021年シリーズD以降のプレマナーのグローバル中央値は、10億ドルへ大きく上昇
- 新規投資額は、2020年の年間総額を超過
- ユニコーン企業の投資ラウンドは、2四半期連続で急増
- 資金調達額は1四半期を残した段階で、2020年の年間総額に迫る勢い
- グローバル上位10件の取引は、米国・インド・中国・ブラジルに集中



米国

- ベンチャーキャピタルによる投資総額は828億ドル、取引総数は3,518件
- バリュエーションは約90%上昇
- ソフトウェア、ヘルスケア、ライフサイエンスに投資が集中
- 事業会社による投資は、第3四半期の350億ドルに迫る勢い
- 1年間の資金調達額は1,000億ドル近くに達し、過去最高を更新



南北アメリカ

- 3,934件の取引で、投資総額は過去最高の940億ドルを更新
- カナダでベンチャーキャピタルブームが続き、大型取引が急増
- メキシコのベンチャー投資が初めて14億ドルを突破
- ブラジルではNubankが数十億ドル規模の取引を主導



ヨーロッパ

- 依然投資は堅調で、投資総額は275億ドル、取引総数は1,910件
- 2021年の新規投資額が60億ドルを超え、2020年の年間総額をはるかに凌ぐ
- ベンチャーキャピタルの投資先企業のイグジット活動は、今年度の現時点で1,120億ドルを超える
- 英国とフランスで記録を更新中
- 上位10件の取引は6カ国に分散



アジア

- ベンチャーキャピタルによる投資は過去最高額に迫る481億ドル、取引総数は2,616件
- レイターステージは減少後、再び急増
- 事業会社による投資が倍増し、300億ドルに迫る勢い
- インドのベンチャーキャピタル投資は、過去最高額を記録
- 中国のベンチャーキャピタル投資は、再び上昇に転じる
- 上位10件の取引にはインドの4件を含む（Flipkart、BYJU、Eruditus、Meesho）

グローバル — 2021年 第3四半期

世界中で投資家がレイターステージ取引に集中資金を投入し続けたことで、ベンチャーキャピタルの投資活動は2021年第3四半期に過去最高額を記録しました。



すべての地域で10億ドル超の取引が誘致されるなど、グローバルでのベンチャーキャピタルによる投資において大型取引が大きな役割を果たす

この四半期も超大型取引が引き続き活発に行われ、10億ドル以上の取引が非常に多く、特に1億ドル規模の資金調達ラウンドが盛んに実施されました。2021年第3四半期は、世界中のすべての地域で大型の投資ラウンドが誘致されました。アジアでは、インドでFlipkartが36億ドル、BYJUが17億ドルを調達し、中国ではSvoltが15億ドルの調達を行いました。米国ではRivian（25億ドル）、Generate（20億ドル）、Databricks（16億ドル）、Articulate（15億ドル）、Devoted Health（12億ドル）、Chime（11億ドル）、GoPuff（10億ドル）と7件の10億ドル超の取引が発生しました。ヨーロッパではドイツに拠点を置くGorillasが9億5,000万ドル、それに続いてロンドンに拠点を置くRevolutが8億ドルを調達しました。



2021年第3四半期はESGおよびクリーンテックに対する投資家の関心が大きな躍進をもたらす

ESGとクリーンテックに対する投資家の関心は、特に電気自動車、クリーンエネルギー、モビリティ、インフラなどの分野で大きく高まっています。2021年第3四半期において、EVメーカーのRivianが25億ドル、代替エネルギーインフラ企業のGenerateが20億ドル、エネルギー貯蔵企業のSvoltが15億ドル、バッテリーリサイクル企業のRedwood Materialsが7億ドルを調達するなど、世界的に見てもクリーンテックに焦点を当てた大規模な取引が数多く行われました。

ESGおよびクリーンテックの新興分野は投資家の関心を急速に集めています。例えばドイツのGrover社（テクノロジーレンタルプログラムを提供することで循環経済を推し進めることに特化）は、2021年第3四半期に10億ドルのデットラウンドで資金調達しています。フードテックなどの隣接分野にも同じく関心が集まっており、2021年第3四半期にイスラエルの培養肉企業であるAleph Farmsが1億500万ドルを調達しました。



ベンチャーキャピタルマーケットでは非従来型の投資家の活動が活発化

世界的に見てもPE企業、ヘッジファンド、投資信託、年金基金などの数が増えていることもあり、ベンチャーキャピタルによる投資は非常に高い水準を維持しています。これら非従来型のベンチャーキャピタルの多くは非上場会社によって生み出されるリターンに注目し、この分野に参入しようとしています。

またクロスオーバー・ファイナンスへの注目が高まっていることも、より幅広い投資家の関心を集める要因となっています。IPOの機会が失われることへの恐怖感が減少していることもあり、各企業は最速で株式を公開することよりも、最適なバリュエーションで株式を公開することを重視しています。これは、期待されるイグジットとのギャップを埋めるためにクロスオーバー・ラウンドを展開する際の要因になっています。クロスオーバー・ラウンドは18~24ヵ月でリターンを得られる可能性があるため、非従来型の投資家が特に注目しています。



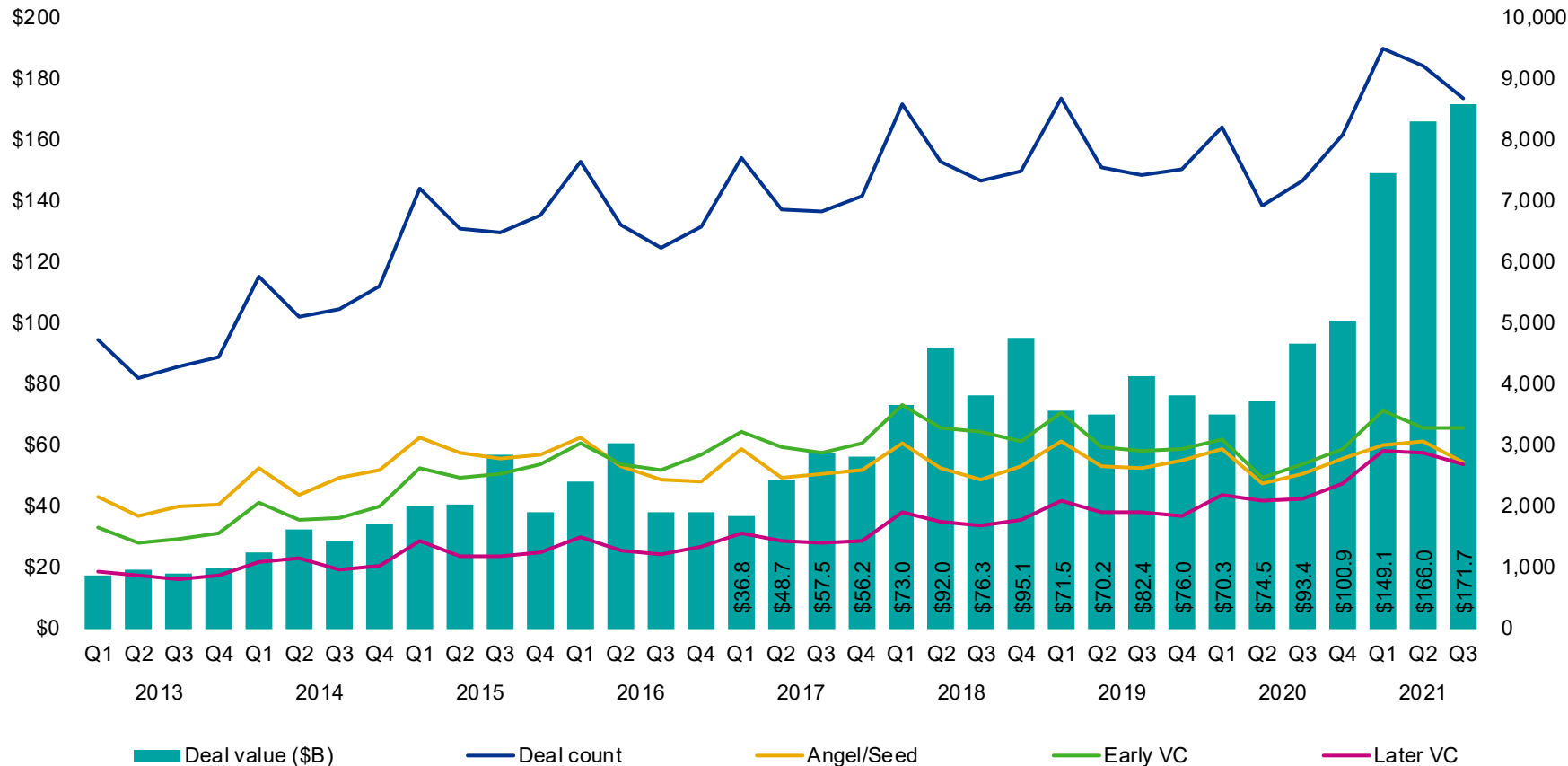
2021年第4四半期に注目すべきトレンド

グローバルでは、フィンテックやヘルステック・バイオテック、B2Bサービス、流通・配送が、ベンチャーキャピタルによる投資において非常に魅力的な分野であり続けると予想されます。現在多くの企業が配送分野に参入しており、企業は市場シェアの拡大縮小に目を向けることから、これからの数四半期間で地域レベルあるいは世界レベルで大型の統合が行われる可能性があります。

ESGおよびクリーンテックに対する投資家の関心は今後も拡大を続けると考えられます。2021年第4四半期に開催されるCOP26では、サステナビリティと気候変動が最大の関心事になります。今後ESG分野への資金が増加し、ESG関連テクノロジーおよびクリーンテックソリューションへの投資が増加する可能性が高く、これは気候変動の影響を緩和する上で大きな力になると考えられます。

Global venture financing

2013–Q3'21



Source: Venture Pulse, Q3'21. Global Analysis of Venture Funding, KPMG Enterprise. *As of September 30, 2021. Data provided by PitchBook, October 20, 2021.

“世界的に見ると、2021年第3四半期はベンチャーキャピタル投資にとって驚くべき四半期となりました。投資家がレイターステージの超大型取引に継続的に資金を投入し、10億ドル以上の案件が11件と、記録的な数字になりました。南北アメリカと米国の両方において、ベンチャーキャピタルによる投資が過去最高額を記録し、アジアでも2018年第2四半期以降最大の投資額を呼び込みました。これは、ベンチャーキャピタルによる投資では過去2番目の取引額です。”



Jonathan Lavender
Global Head,
KPMG Private Enterprise

米国 — 2021年 第3四半期

2021年第3四半期における米国のベンチャーキャピタルによる投資は非常に堅調であり、投資総額は828億ドル、取引総数は3,518件に達しました。2021年第3四半期はベンチャーキャピタルによる投資にとって過去最高の四半期となり、今年記録した最高額を更新しました。



10億ドル超の投資ラウンドを含む大型取引が米国のベンチャーキャピタルによる投資を牽引

2021年第3四半期は、大型取引が米国のベンチャーキャピタルマーケットを牽引し続けました。EVメーカーRivianの25億ドルの投資ラウンド、持続可能エネルギーインフラストラクチャ企業Generateの20億ドルの資金調達、データおよびAI企業Databricksの16億ドルの資金調達¹、リモート従業員トレーニング企業Articulateの15億ドルの投資ラウンド、Devoted Healthの12億ドルの資金調達、フィンテック企業Chimeの11億ドル、配送企業GoPuffの10億ドルの資金調達などがこれに当たります。

2021年第3四半期は、すべての取引ステージを通じて各企業が呼び込む投資ラウンドが大型化したことから、資金調達額の中央値が増加し続けました。このような資金調達額の増加は、膨大な資本が米国のベンチャーキャピタルマーケットに投入され続けたことを浮き彫りにしています。



2021年の米国の資金調達額は1四半期を残した段階で最高額を記録

2021年第3四半期の米国の資金調達額が年間最高額を記録しました。この状況はさまざまな要因が組み合わさった結果として発生しています。十分な実績を持つ一流のベンチャーキャピタル企業は、これまでよりも短期間で新しい資金を調達しています。ファンドをラップしてから資金調達をクローズするまで、これまでは場合によっては2〜3年かかっていましたが、現在では1年半以内にこれを行っている企業もあります。また、ベンチャーキャピタル市場では研究開発活動の代替や補完、早期買収のターゲット特定を最適化するための投資を行っている企業も多く、ベンチャーキャピタルファンドを組成するプレイヤーも増えています。

¹ <https://databricks.com/company/newsroom/press-releases/databricks-raises-1-6-billion-series-h-investment-at-38-billion-valuation>

² <https://techcrunch.com/2021/09/09/varo-bank-raises-510m-at-a-2-5b-valuation/>



2021年第3四半期はイグジット活動に短期的な減速が見られる

IPOおよびM&A活動は2021年第3四半期に若干減速しました。これは季節的な影響もありますが、速やかにイグジットを行わなければならないという企業側のプレッシャーが減少したことも要因として考えられます。企業は自身のイグジット計画についてこれまで以上に戦略的になっており、確実な結果が得られるよう準備するために時間をかけています。

SPACを利用した上場に対する情熱が薄れ続けているため、SPACによって完了するIPOの割合は減っていますが、IPO活動は2021年第4四半期には元の状態に戻ると考えられます。またM&A活動も堅調であると予想されます。投資家が短期的な見通しから長期的な見通しに焦点をシフトさせてきたことで、バリュエーションが短期間で大幅に増大するという予測から生じたパニックは、この数カ月でかなり落ち着きました。



米国の投資家が広範囲のヘルステックとフィンテックソリューションを歓迎

2021年第3四半期、米国ではフィンテックとヘルステックの両方が依然として注目の投資分野になっています。これはこの2つの分野の企業が多様化していることも一因です。Chimeによる11億ドルの調達、Varo²による5億1,000万ドルの調達など、デジタルバンキングがフィンテック分野の最大規模の案件を集めました。ベンチャーキャピタルはインシュアテック、ブロックチェーン、B2B金融サービスなどの分野にも関心を示しました。

ヘルステック分野ではこの四半期においてDevoted Healthが12億ドルの資金調達を行いました。また創薬分野は米国のベンチャーキャピタルの間で引き続き人気があり、2021年第3四半期にeRNA治療企業Larondeが4億4,000万ドルを調達しました。米国のベンチャーキャピタルの関心が集まっているその他のヘルスケアサブセクターには、女性の健康管理、ロボティクス、日常的な医療手続きにおけるAIの統合などがあります。

米国 — 2021年 第3四半期



2021年第4四半期に注目すべきトレンド

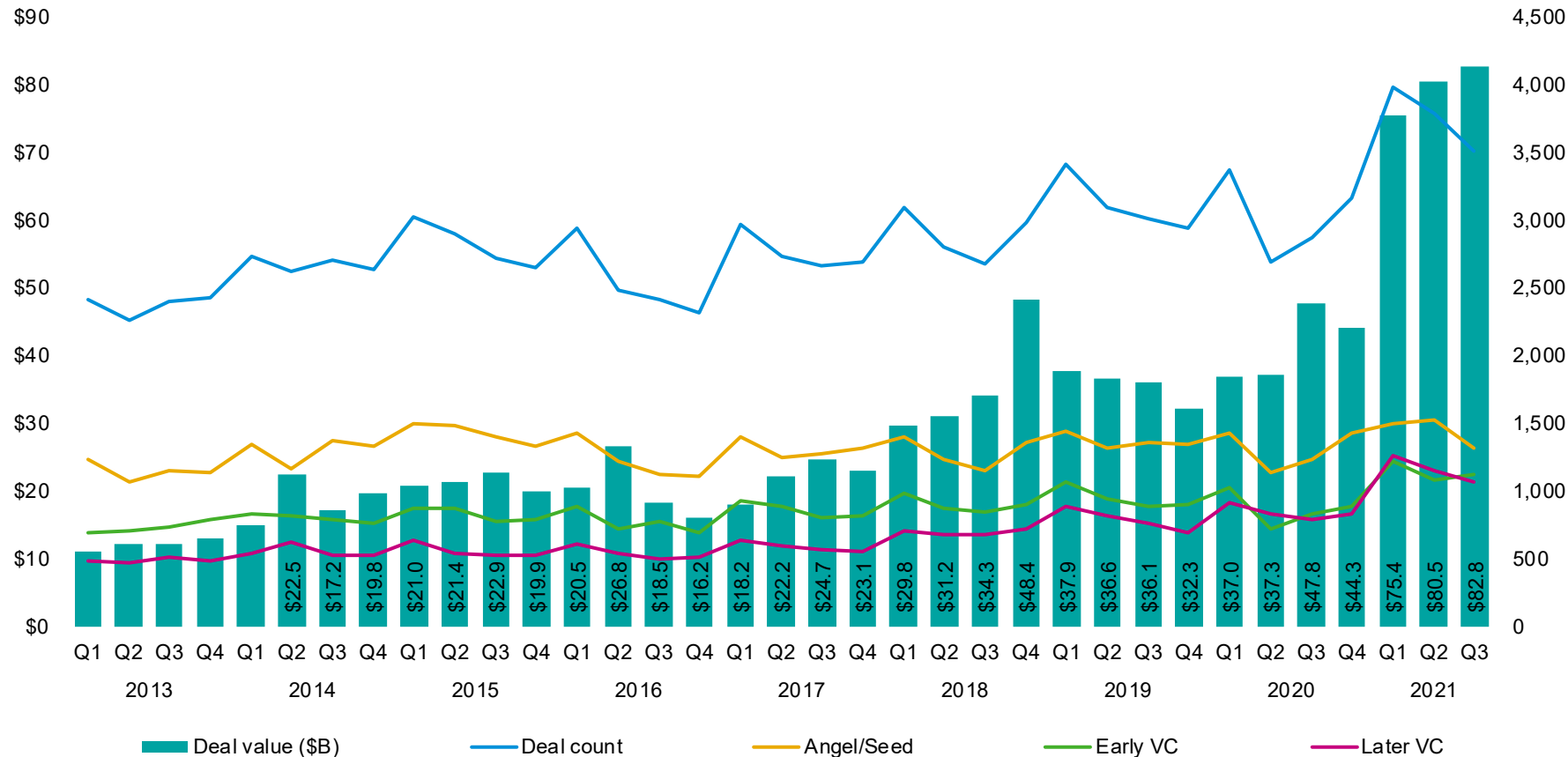
2021年第4四半期に向けて、米国のベンチャーキャピタルの間ではESGへの関心が引き続き高まっており、持続可能なソリューションを提供する企業への投資が拡大していくと予想されます。また、特にESGに注力したスタートアップ企業を対象とするベンチャーキャピタルファンドが増加することも考えられます。さらにこれからの数四半期において、不動産にフォーカスしたソリューションについても、ベンチャーキャピタルによる投資が増加すると考えられます。

夏季の停滞はありましたが、各企業がIPO計画を推進し続けることが予想されており、2021年第4四半期にはIPO活動が回復し、2022年第1四半期においてもそのまま持続すると予想されます。米国のSPACのIPOは今後も後退し続ける一方で、従来型のIPOとダイレクタリスティングは引き続き注目を集めると予想されます。

米国 — 2021年 第3四半期

Venture financing in the US

2013–Q3'21



Source: Venture Pulse, Q3'21, Global Analysis of Venture Funding, KPMG Enterprise. *As of September 30, 2021. Data provided by PitchBook, October 20, 2021.

“ 世界中の事業活動が少しずつ再開している今、ワークスペースの未来に対する追加の投資が始まると考えられます。採用や雇用からハイブリッドチームの管理や業績の向上、さらにはリモートワークやオフィスワークを問わず、すべての社員が公平と感じられるような報酬体系に至るまで、ハイブリッドワークのあらゆる分野で変革が進んでいくと考えられます。

”



Conor Moore
Global Co-Leader — Emerging Giants, KPMG Private Enterprise, and Partner, KPMG in the US

南北アメリカ – 2021年 第3四半期

2四半期連続で投資額の記録を更新した南北アメリカでは、2021年第3四半期、ベンチャーキャピタルによる投資は新しい高みに到達しました。米国、カナダ、ラテンアメリカを含む南北アメリカのすべての地域で、投資は非常に堅調なまま推移しています。



米国以外ではブロックチェーンへの投資が大きな注目を集める

2021年第3四半期は、米国以外ではブロックチェーンがベンチャーキャピタルによる投資を最も呼び込みました。アンティグアに拠点を置くFTXおよびブラジルに拠点を置くMercado Bitcoin（どちらも暗号資産取引所）が、それぞれ9億ドル、2億ドルの資金調達を行い、カナダに拠点を置く暗号資産企業Blockstreamも1億6,700万ドルを調達しました。

南北アメリカでは、さらに広い範囲でフィンテック分野が注目を集めており、Nubankが11億5,000万ドル、米国のChimeが11億ドル、米国のVaroが5億1,000万ドル、ブラジルのOmieが1億1,200万ドルの資金調達を行いました。



2021年第2四半期の記録更新後もカナダのベンチャーキャピタルによる投資は堅調を維持

カナダでは2021年の第1四半期と第2四半期において、ペントアップ需要、大量のドライパウダー（投資可能な手元資金）により、ベンチャーキャピタルによる投資は非常に高水準となりました。記録的な2四半期の後、2021年第3四半期にはベンチャーキャピタルによる投資は減少しましたが、これまでのトレンドと比較すると非常に堅調な状態を維持しています。

2021年第3四半期、カナダでは広範囲の分野、および広範囲の地域の企業がベンチャーキャピタルによる投資を呼び込みました。これには創業企業Deep Genomics（1億8,000万ドル）、旅行会社Hopper（1億7,500万ドル）、ブロックチェーン関連企業Blockstream Corporation（1億6,700万ドル）、会計ソフトウェア企業Freshbooks（1億3,575万ドル）、フィンテックプラットフォームFlinks（1億300万ドル）、セキュリティ企業1Password（1億ドル）などの事例があります。2021年第3四半期の投資ラウンドにより、Blockstream、Freshbooks、1Passwordがカナダで最も新しいユニコーン企業になりました。

³ <https://www.nasdaq.com/articles/e-commerce-platform-nuvemshop-becomes-brazils-latest-unicorn-2021-08-17>

⁴ <https://labsnews.com/en/news/business/unico-becomes-a-new-brazilian-unicorn-and-the-fifth-invested-by-softbank/>



2021年第3四半期、ラテンアメリカの大型取引の誘致により2つの新しいユニコーンが登場

2021年第3四半期、ラテンアメリカでは多くの地域で大規模な投資ラウンドが行われました。コロンビアに拠点を置くRappi、アルゼンチンに拠点を置くTiendanube（Nuvemshopとしても知られる企業）、メキシコに拠点を置くKavakが、それぞれ5億ドルを超えるラウンドで資金調達しました。一方ブラジルでは、数多くの1億ドルを超える投資ラウンドが誘致されました。例えば、eコマースプラットフォームNuvemshopが5億ドルの資金調達を行い³、不動産会社Quinto Andarが4億2,000万ドル、暗号通貨取引所Mercado Bitcoinが2億ドル、配車および配送運転手専用の自動車レンタル企業Koviが1億2,400万ドル、デジタルID企業Unicoが1億2,090万ドル、決済企業Coraが1億1,450万ドル、ビジネス管理プラットフォームOmieが1億1,200万ドルの資金調達を行いました。

2021年第3四半期、ラテンアメリカでは資金調達額が増大し、ユニコーンがこれまで以上に誕生しました。今四半期、Tiendanube⁴とUnicoの両方がユニコーンステータスを獲得しました。



南北アメリカで注目すべきトレンド

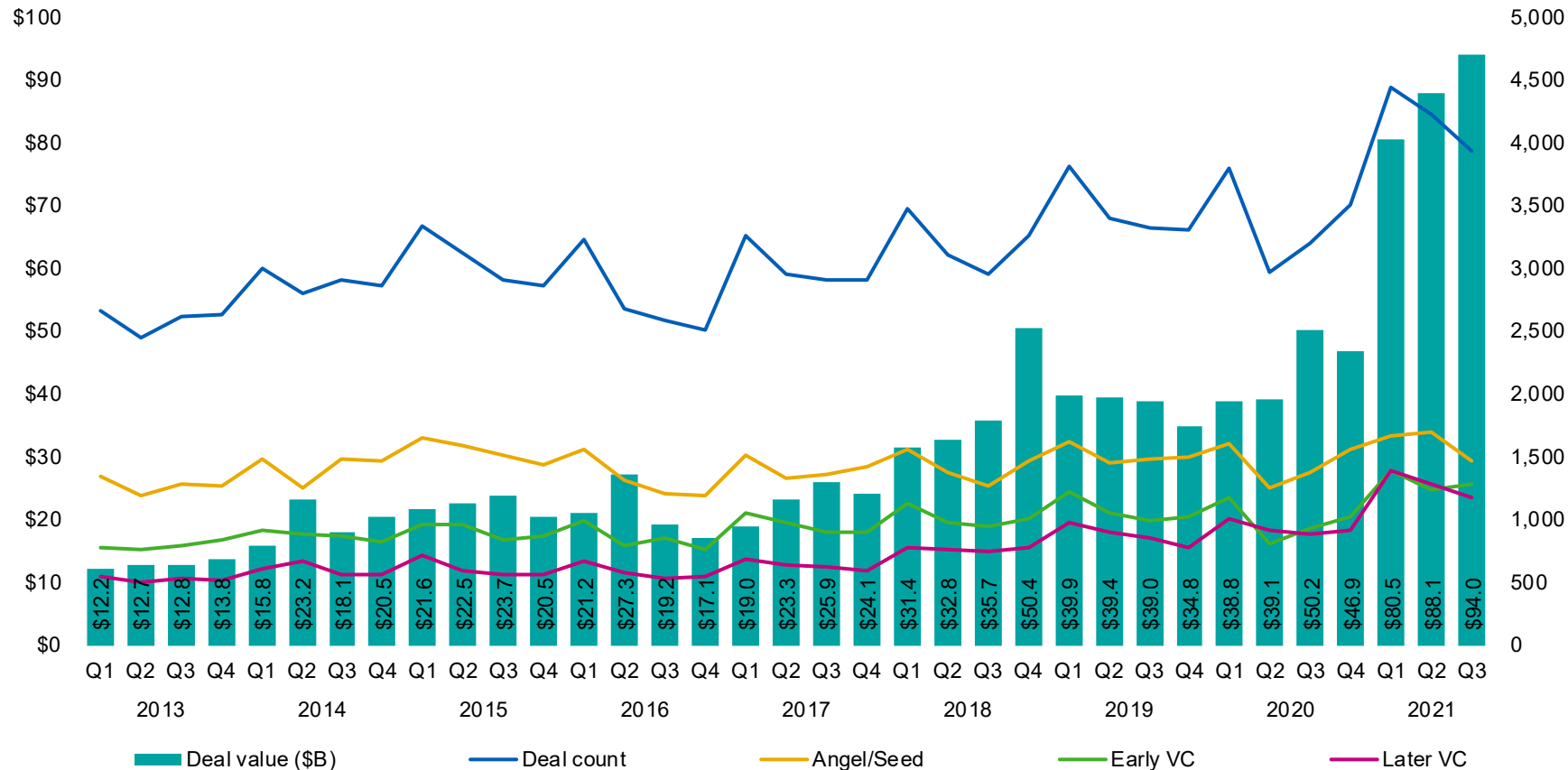
南北アメリカのベンチャーキャピタルによる投資は、2021年第4四半期においても、米国だけでなくカナダ、ラテンアメリカ諸国でもきわめて堅調であることが予想されます。さまざまな分野のスタートアップが成長するにつれ、資金調達額も増加し続けると考えられます。フィンテックへの投資は流通と配送分野、ヘルステックとバイオテック分野と同様に、依然として大きな注目を集めています。

2021年第3四半期はイグジット活動が落ちついていましたが、2021年第4四半期には再び活況となることが予想されます。またその際には、従来型のIPO活動とM&A活動も活発に行われるでしょう。

南北アメリカ – 2021年 第3四半期

Venture financing in the Americas

2013–Q3'21



Source: Venture Pulse, Q3'21, Global Analysis of Venture Funding, KPMG Enterprise. *As of September 30, 2021. Data provided by PitchBook, October 20, 2021.

“カナダでは全国的に数多くの投資活動が見られました。サカストゥーン、エドモントン、バンクーバーをはじめ、その他の地方都市でも素晴らしい投資が行われました。それにより、スタートアップは「我々が成功するには、本当にテックハブを拠点にしなければならないのか」という疑問を抱くと考えられます。確かに有効な施策ではありますが、この18ヵ月間でその答えは明らかに「ノー」に変わってきました。現実的には場所に関わらず企業活動は可能であり、だからこそ、さまざまな場所で多くの案件が生まれています。”



Sunil Mistry
Partner, KPMG Private Enterprise,
Technology, Media and
Telecommunications,
KPMG in Canada

ヨーロッパ – 2021年 第3四半期

ヨーロッパでのベンチャーキャピタルによる投資は2021年第3四半期も堅調でしたが、前四半期の記録的な投資総額には及びませんでした。ベンチャーキャピタルによる投資は全体的に堅調で、第3四半期としては過去最高額を記録しました。



ヨーロッパ全域でフィンテックがベンチャーキャピタルによる大型投資を誘致

2021年第3四半期は、ヨーロッパの多くの地域でフィンテックが依然として非常に活発な投資分野になっており、同四半期のヨーロッパ最大規模の資金調達の一つがこの分野で行われました。例えば、英国のRevolutが8億ドル、スイスのQuantus Holdings Strategiesが5億5,300万ドル、英国のMarketFinanceが4億1,300万ドル、英国のRapydが3億ドル、スイスのTradePlus24が2億2,500万ドル、ドイツのSolarisbank⁵が2億2,400万ドルの資金調達を行いました。

このような大型投資ラウンドは、ヨーロッパのフィンテック企業の成長と、伝統的な銀行や保険企業と競合するために規模の経済を拡大、実現する必要性の両方を反映しています。2021年第3四半期、Solarisbankは調達した資金をもとに、英国の決済に特化したフィンテック企業であるContisを買収しました⁶。これからの数四半期の間、この分野ではさらにM&A活動が活発になると考えられます。



Groverによる9億5,000万ドルのデット資金調達などドイツのベンチャーキャピタルによる投資も堅調

2021年第3四半期は、ドイツのベンチャーキャピタルによる投資が堅調でした。オンデマンド食料品宅配企業Groverによる9億5,000万ドルのデット資金調度を筆頭に、コンテンツプラットフォーム企業Contentful、宇宙テクノロジー企業Isar Aerospace、エドテック企業CoachHub、グリーンエネルギー企業Enpal⁷など、さまざまな企業が1億ドル超の資金調達を行いました。このように広範囲の分野に注目が集まっていることは、マーケットリーダーが登場したばかりの分野から将来の成長が見込める分野へとベンチャーキャピタルの関心が移っていることを反映しています。

2021年第3四半期はドイツのM&A活動が活発となり、2021年第4四半期も特にヘルステック分野において増加し続けると考えられます。今四半期には多くの地域でSPAC IPOの人气が低下しましたが、ドイツではLakestar SPAC I LRS1.DEと旅行会社HomeToGo⁸との間で、2021年第3四半期最初のSPACによる合併が行われました。

5: <https://techcrunch.com/2021/07/26/solarisbank-raises-224m-at-a-1-65b-valuation-to-acquire-contis-and-expand-its-api-based-embedded-banking-tech-in-europe/>

6: ibid.



2021年第3四半期は北欧で3つの新しいユニコーンが誕生

北欧地域は、投資総額が2021年第2四半期に見られた高水準からは減少しましたが、依然としてベンチャーキャピタルの関心を集めています。2021年第3四半期、スウェーデンはこの地域で最大のベンチャーキャピタル取引を誘致し、ノルウェーとデンマークの企業も脚光を浴びました。デンマークではデジタルチャレンジャーバンクLunarが2億5,000万ドル、中小企業向け経費管理プラットフォームPleoが1億5,000万ドルの資金を調達、フィンランドではAlphaSenseが1億8,000万ドルの資金調達を行いました。またノルウェーでは、eコマースから印刷・配送までを行うプラットフォームGelatoが2億5,000万ドルの資金調達を行いました。その結果、すべての企業がユニコーンの地位を獲得しました。

2021年第3四半期のベンチャーキャピタルによる投資では、ゲームやESG関連のソリューションに対する投資家の関心も引き続き高水準である一方、フィンテックとSaaSが大きな成功を収めました。今年はまだ1四半期を残しているにもかかわらず、資金調達額はすでに2020年の規模を超えており、北欧地域のベンチャーキャピタルマーケットの将来的な見通しは明るいと云えます。



アイルランドではヘルステックとバイオテックへの関心が継続

2021年第3四半期、アイルランドでは資金調達活動が季節的に停滞しましたが、ベンチャーキャピタルによる投資は堅調でした。国際的な投資家および事業会社は、アイルランドの革新的な企業および革新の可能性の両方の点において、同国に大きな価値を見出しています。2021年第3四半期、Stripeは今後3年間でアイルランドに数百人の技術職を採用すると発表しました⁹。アイルランドでは、2021年第4四半期もフィンテック、ヘルステックとバイオテック分野の投資が非常に活発であり続けると予想されます。

2021年第3四半期はイグジット活動が落ちついていましたが、2021年第4四半期には再び活況となることが予想されます。またその際には、従来型のIPO活動とM&A活動も活発に行われるでしょう。

7: <https://retailtechnnovationhub.com/home/2021/7/28/grover-raises-1-billion-dollars-to-grow-circular-economy-business>

8: <https://www.nasdaq.com/articles/shareholders-back-lakestar-spac-merger-with-germanys-hometogo-2021-09-13>

9: <https://www.thesun.ie/news/7608426/stripe-hundreds-engineering-jobs-dublin-leo-varadkar/>

ヨーロッパ – 2021年 第3四半期



ヨーロッパで注目すべきトレンド

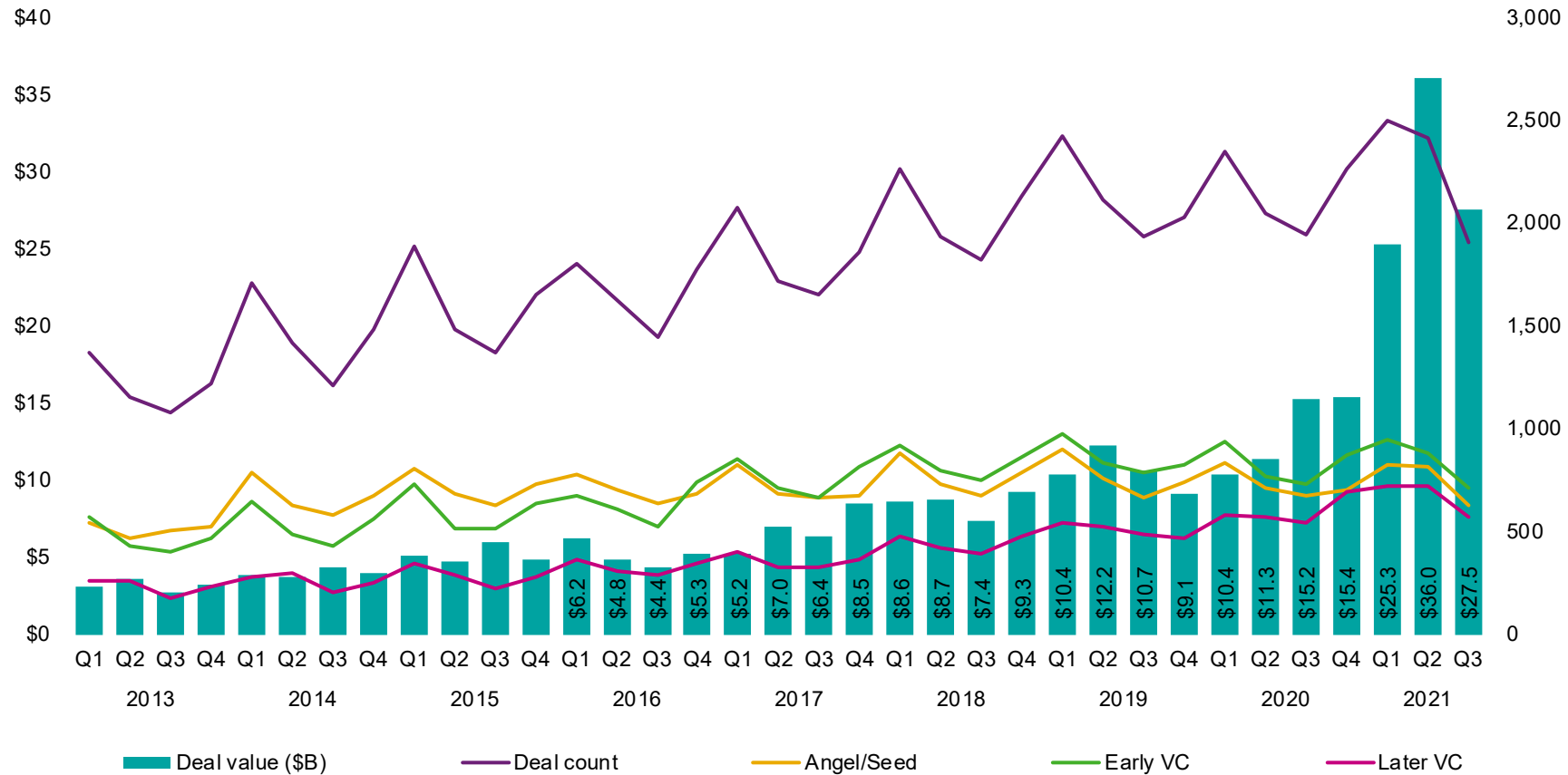
現在、食料品およびラストワンマイル配送事業がヨーロッパで急増しており、この分野はやがて飽和状態に達することが予想されます。それぞれの企業が成長と市場シェア獲得を目指すことから、結果的に急速な業界再編が起こることが予測されます。フィンテック分野でもこれからの数四半期間に大きな業界再編が起こりはじめる可能性があります。

2021年第4四半期にグラスゴーでCOP26が開催されることに伴い、ヨーロッパのベンチャーキャピタルにとっては持続可能なソリューション、グリーンテック、クライメートテック（気候テック）が大きな関心事になると考えられます。2021年第4四半期は、パンデミックの間優先されなかった分野に対しても投資が再開される可能性があります。

ヨーロッパ – 2021年 第3四半期

Venture financing in Europe

2013–Q3'21



Source: Venture Pulse, Q3'21. Global Analysis of Venture Funding, KPMG Enterprise. *As of September 30, 2021. Data provided by PitchBook, October 20, 2021.

“英国のマーケットに参入するプレイヤーはますます増えているため、ドライパウダー（投資可能な手元資金）が溢れているだけでなく、ヘッジファンド、事業会社、その他の非従来型の投資家との競争も活発になっています。英国に拠点を置く企業の資金調達に参加する海外の投資家も増えています。こういったことすべてが、英国でのバリュエーションの向上に結びついています。”



Kevin Smith

Head of KPMG Private Enterprise in EMA, Global Co-Leader — Emerging Giants, KPMG Private Enterprise, and Partner, KPMG in the UK

アジア – 2021年 第3四半期

2021年第3四半期のアジアのベンチャーキャピタルによる投資は、Flipkartによる36億ドルの資金調達やエネルギー貯蔵企業Svoltによる17億ドルの資金調達をはじめとして、比較的堅調でした。



インドのフィンテック投資が最高額を記録

2021年第3四半期、インドでベンチャーキャピタルによる投資が大幅に増加し、140億ドルを上回って、四半期の最高額を記録しました。2021年第3四半期、FlipkartおよびByjuによる多額の資金調達に加え、PharmEasyとOlaの両社も5億ドルの投資ラウンドを実施しました。従来型のベンチャーキャピタル以外の投資家も多数のディールに参加しており、その中にはこれまでインドの消費者向けテクノロジーの取引にあまり積極的ではなかった伝統的なプライベート・エクイティ・ファームも含まれています。今四半期、インドではフィンテックのBharatPe、CoinDCX、エドテックのUpGrad、Eruditus Executive Educationなど、9社の新しいユニコーンが登場しました。

2021年第3四半期、インドではIPO活動も非常に活発で、2021年第4四半期も一層活発になると考えられます。今四半期で食品配送企業ZomatoがIPOに成功し、取引の初日に同社の株価が80%上昇しました¹⁰。ユニコーンフィンテックPaytmも株式公開（2021年第4四半期予定）の計画を発表しました¹¹。PharmEasyも2021年第4四半期初頭にIPOの申請書類を提出することが予想されます¹²。



中国での規制変更がベンチャーキャピタルによる投資に影響するが、その影響は一部の領域に限定

2021年第3四半期、中国でのベンチャーキャピタルによる投資とIPO活動の両方が、やや減速しました。エドテックやフィンテックなどの特定分野に対する政府の方針と規制が変更されたことが、その一因になっています。2021年第3四半期、中国の中央政府は、中国企業の海外での上場に関する新しい実施ガイドラインを発表しました。これには監督強化の計画や、海外のデータフローおよびデータセキュリティに関連する規制改善の計画が含まれています¹³。

この新しい規制の影響を受けないハードウェア企業や、レストラン、食品配送などの消費者市場の企業に代表される複数の分野において、堅調な投資が進みました。2021年第3四半期の間、Svoltによる大型資金調達に加え、5Gテクノロジー企業CICT Mobileが5億6,900万ドル、ミルクティー小売企業HeyTeaが5億ドル、集積回路製造企業ESWIN Materialが4億6,200万ドルの資金を調達しました。



香港でESGへの関心が増大

香港では、分野を越えたさまざまな企業が炭素排出量の削減や相殺の方法を模索しており、ESGおよびクリーンテックに対する投資家の関心が高まっています。香港にある多くのESG関連スタートアップ企業は、いまだ資金調達のシードステージの初期段階にあるものの、グリーンテクノロジーへの需要の増大や、政府のサステナビリティや気候変動への集中の影響もあり、投資家の注目をますます集めています。多くのスタートアップにおける課題は、コストダウンを達成しながら財務的に持続可能にするための適切なスケールメリットを見出すことです。ESGへの指向が高まっている現在、こういった企業が成長し大きな投資を引き出せるようになるのも時間の問題になるでしょう。



日本のベンチャーキャピタル投資は記録的な四半期を経験

日本は、2021年第3四半期に14億ドルの投資額を記録しており、日本のベンチャーキャピタル市場は進化と成長を続けています。同国のスタートアップは徐々に大規模な投資ラウンドを実施するようになってきました。第3四半期における資金調達の例として、ニュースアプリのSmart News（2億3,000万ドル）¹⁴、生物診断研究企業のHIROTSUバイオサイエンス（1億4,600万ドル）、製造業プラットフォームのCaddi（9,500万ドル）が挙げられます。同国のエグジット活動も活況を呈しており、PayPalによるPaidy（後払い決済企業）の買収（27億ドル）¹⁵や、クラウド型映像プラットフォームのSafie¹⁶のIPOなどがその一例です。スタートアップが継続的に成長し、グローバル規模での注目を集めていることから、2021年第4四半期に向けて日本のベンチャーキャピタル投資は増加すると考えられます。

10: <https://www.cnn.com/2021/07/23/zomato-ipo-indian-food-delivery-start-up.html>

11: <https://www.indiatvnews.com/business/markets-paytm-ipo-subscription-date-price-grey-market-gmp-premium-share-price-listing-date-722189>

12: <https://economictimes.indiatimes.com/tech/startups/pharmeasy-plans-to-file-ipo-papers-by-october/articleshow/85668077.cms>

13: <https://news.cgtn.com/news/2021-07-06/China-increases-data-security-scrutiny-on-overseas-listed-companies-11G16Ed05Xi/index.htm>

14: <https://about.smartnews.com/en/2021/09/15/smartnews-raises-230-million-in-series-funding-at-a-2-billion-valuation-plans-to-invest-in-us-growth/>

15: <https://newsroom.paypal-corp.com/2021-09-07-PayPal-To-Acquire-Paidy>

16: <https://thebridge.jp/en/2021/10/safie-marks-jpy180b-valuation>

アジア – 2021年 第3四半期



アジアで注目すべきトレンド

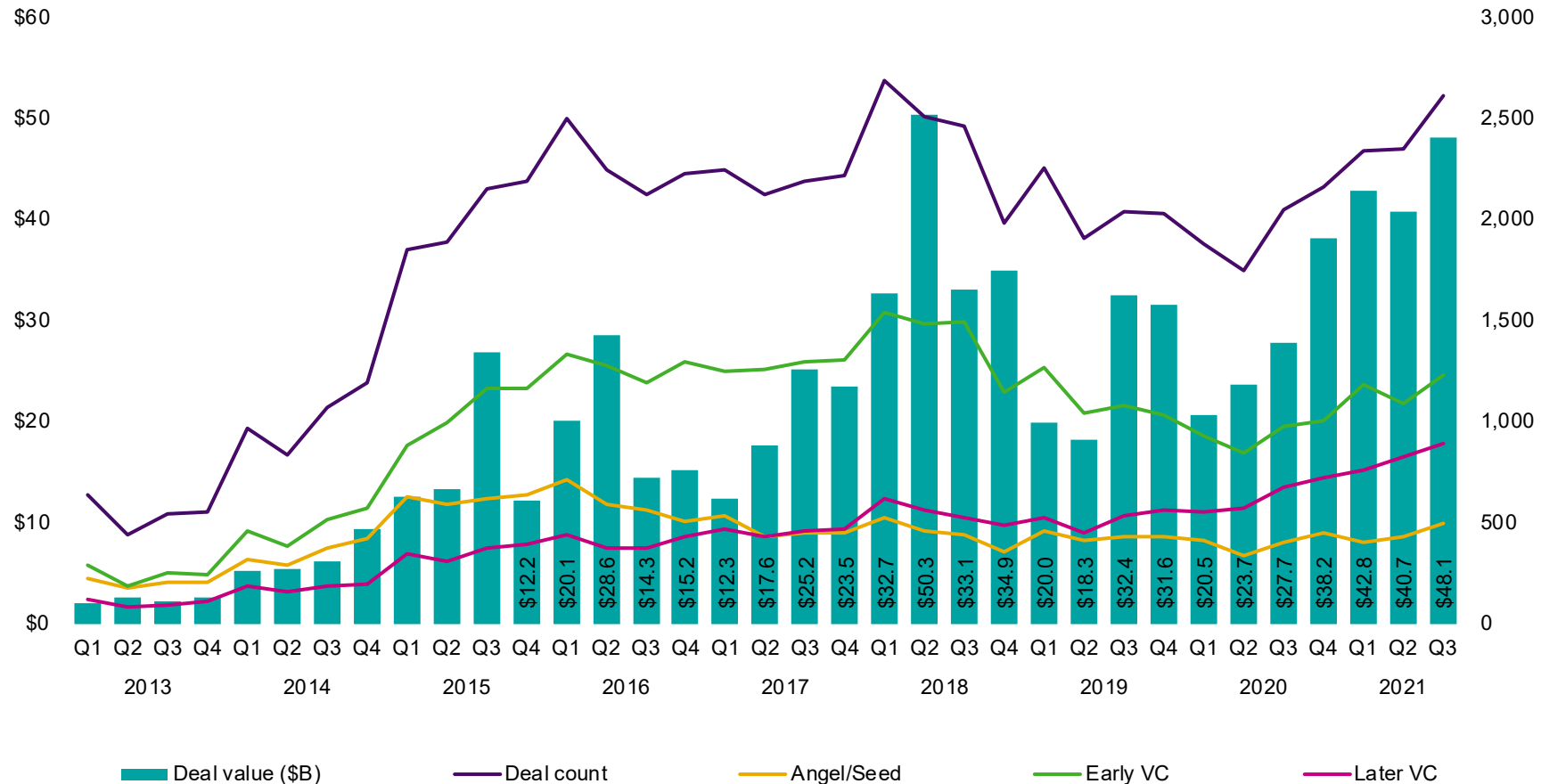
2021年第4四半期に入ると、中国ではヘルステック、新しい消費者市場、ハードウェアなどの企業に対する投資は引き続き堅調である一方、多くの分野でベンチャーキャピタルによる投資が減速すると考えられます。

インドでは、特にコンシューマテック、D2C企業、フィンテック、エドテックの投資が活発になっていることから、2021年第4四半期もベンチャーキャピタルによる投資は増加すると考えられます。ソーシャルコマースも、これからの数四半期間にインドのベンチャーキャピタルから注目を集める可能性があります。インドでは2021年中にも、数多くの超大型IPOが発生すると考えられます。

アジア – 2021年 第3四半期

Venture financing in Asia

2013–Q3'21



Source: Venture Pulse, Q3'21, Global Analysis of Venture Funding, KPMG Enterprise. *As of September 30, 2021. Data provided by PitchBook, October 20, 2021.

中国のベンチャーキャピタルによる投資は投資額240億ドルを記録し、2021年第2四半期とほぼ同じレベルで推移しました。これには、SVOLTおよび創薬企業AbogenBioの大型資金調達が含まれています。中国政府が長期的な戦略優先項目を明確にしたことから、ハードウェア関連のスタートアップ企業が中国のベンチャーキャピタルから注目を集めるようになりました。2021年の上半期は、ハードウェアスタートアップ企業が55億ドル以上の投資を呼び込みました。2021年第3四半期にはその額が増加し、第4四半期には投資関連のすべての指標が堅調さを維持するようになると考えられます。

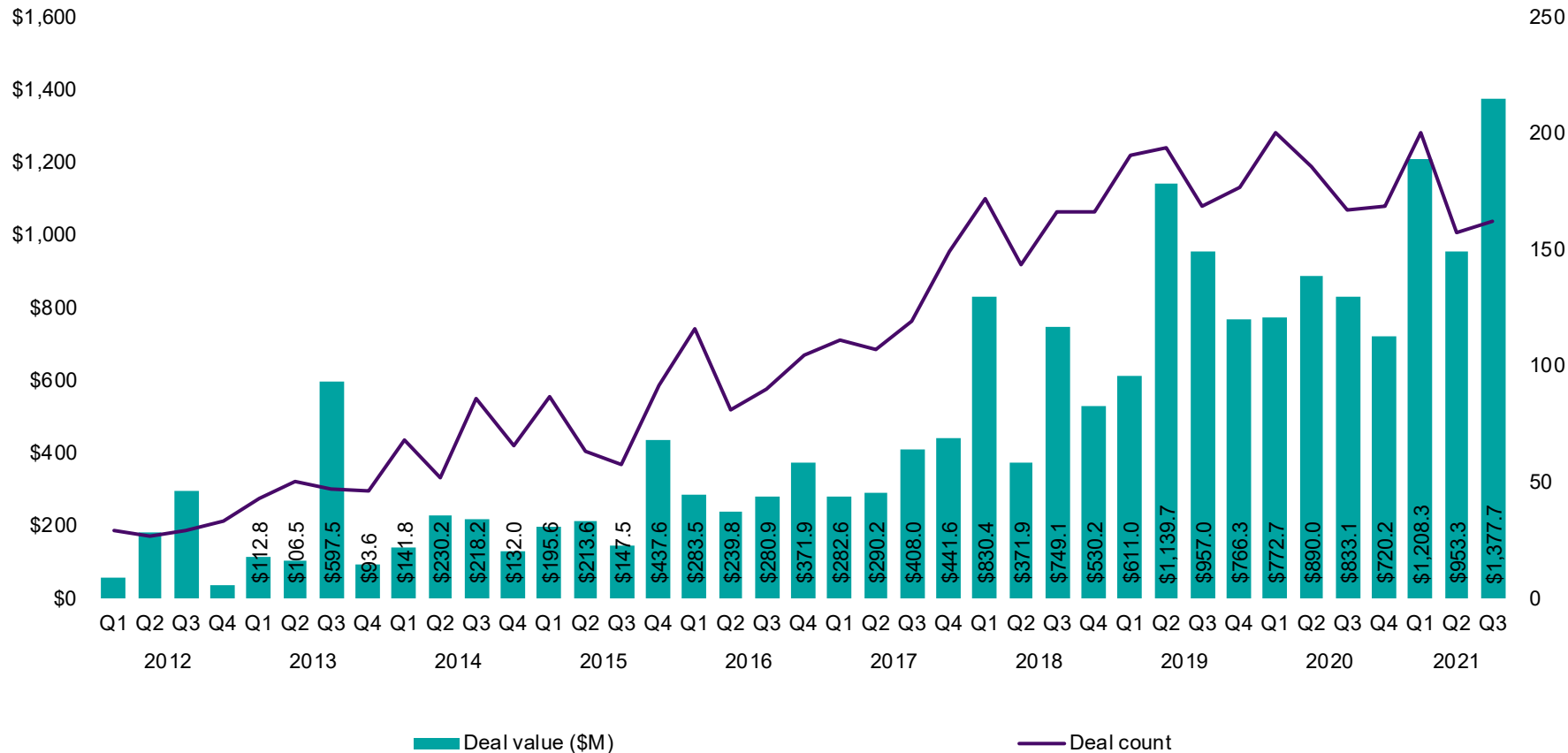


Egidio Zarrella
Partner, Clients and Innovation
KPMG China

日本 — 2021年 第3四半期

Venture financing in Japan

2013–Q3'21



Source: Venture Pulse, Q3'21. Global Analysis of Venture Funding, KPMG Enterprise. *As of September 30, 2021. Data provided by PitchBook, October 20, 2021.

日本におけるベンチャーキャピタル投資額は、2021年第3四半期に約14億ドルに達しました。日本のベンチャーキャピタル市場は急速に成長しており、新規のスタートアップ社数も増加し、以前より成熟したスタートアップが、より高いバリュエーションで大規模な投資ラウンドを誘致しています。

またイグジット活動はこの10年で最も盛んで、これは日本市場の優位性を示しており、2021年第4四半期に向けてさらなる投資を呼び込むと考えられます。



Paul Ford

Head of Private Equity, Leader of Transaction Services, M&A Deal Analytics Lead and Partner, KPMG in Japan



KPMGジャパン セクター統轄室

Sector-Japan@jp.kpmg.com

プライベートエンタープライズセクター

home.kpmg/jp/private_enterprise

英語オリジナル

[Venture Pulse Q3 2021 : Global analysis of venture funding](#)

home.kpmg/jp/socialmedia



本冊子は、KPMGインターナショナルが2021年10月に発行した「Venture Pulse Q3 2021 : Global analysis of venture funding」を、KPMGインターナショナルの許可を得て抄訳したものです。翻訳と英語原文間に齟齬がある場合は、当該英語原文が優先するものとします。

ここに記載されている情報はあくまで一般的なものであり、特定の個人や組織が置かれている状況に対応するものではありません。私たちは、的確な情報をタイムリーに提供できるよう努めておりますが、情報を受け取られた時点及びそれ以降においての正確さは保証の限りではありません。何らかの行動を取られる場合は、ここにある情報のみを根拠とせず、プロフェッショナルが特定の状況を綿密に調査した上で提案する適切なアドバイスをもとにご判断ください。

©2021 Copyright owned by one or more of the KPMG International entities. KPMG International entities provide no services to clients. All rights reserved.

KPMGは、グローバル組織、またはKPMG International Limited (「KPMGインターナショナル」)の1つ以上のメンバーファームを指し、それぞれが別個の法人です。KPMG International Limitedは英国の保証有限責任会社 (private English company limited by guarantee) です。KPMG International Limitedおよびその関連事業体は、クライアントに対していかなるサービスも提供していません。KPMGの組織体制の詳細については、<https://home.kpmg/xx/en/home/misc/governance.html>をご覧ください。

© 2021 KPMG AZSA LLC, a limited liability audit corporation incorporated under the Japanese Certified Public Accountants Law and a member firm of the KPMG global organization of independent member firms affiliated with KPMG International Limited, a private English company limited by guarantee. All rights reserved. 21-1057

The KPMG name and logo are trademarks used under license by the independent member firms of the KPMG global organization.